

## 第24回全国女性消防団員活性化滋賀大会を開催しました

第24回全国女性消防団員活性化滋賀大会が、平成30年11月9日（金）ウカルちゃんアリーナ（滋賀県立体育館）で、「母なる湖、琵琶湖へようこそ 近江の国から発信！今こそ一致団結女性消防団！」をテーマに、全国から約3,700人にご参加いただき開催されました。

女性活性化大会は、全国の女性消防団員が一同に集い、日頃の消防活動や先進的な取り組みについてアピールするとともに、意見交換や交流を通じて連携を深めることにより、女性消防団員の活動をより一層活性化させることを目的とし、総務省消防庁、公益財団法人日本消防協会、第24回全国女性消防団員活性化滋賀大会実行委員会が主催、滋賀県と津市に共催いただき開催いたしました。

開会式では、菅井麻子津市消防団本部分団部長の開会宣言の後、国歌斉唱、菅原泰治消防庁国民保護・審議官、秋本敏文日本消防協会会長の挨拶に続き、植田和生滋賀大会実行委員会委員長（滋賀県消防協会会長）、開催地滋賀県の三日月大造知事、越直美津市長の挨拶がありました。

その後、活動事例発表として、午前に奈良県橿原市消防団、三重県桑名市消防団、午後から千葉県浦安市消防団、岐阜県多治見市消防団、高知県土佐市消防団の計5団の発表があり、また、防火防災啓発劇としまして、午前に大分県佐伯市消防団、大阪府高槻市消防団、午後から富山県富山市消防団、滋賀県野洲市他3市消防団の計4団の発表がありました。どの発表も素晴らしい内容でした。その他、それぞれの団での活動や工夫している事や物品等をまとめて展示するPR展示がアリーナ2階に設置され、見学された皆様は写真やメモを取る等、今後の活動の参考にされていました。

記念講演は、元WBC世界バンタム級チャンピオンの山中慎介氏をお招きし「継続は力なり」と題して講演をされました。「継続は力なり」という言葉の意味の大切さ、目標を持つことの大切さ、目標があるからこそ、実現するための努力を継続させることが出来る、自分に勝つこと、勝ってまた新たに大きな目標を持ち目指していく事等、メッセージ性のある講演内容に、日々奮闘し活動されている団員の皆様は、頷きながら聞き入っておられました。

閉会式では、高口昌美草津市消防団分団長が大会宣言を朗読され、満場の拍手で承認されました。続いて、岩井和子野洲市消防団副団長のお礼のことばの後、「大会旗」が植田和生滋賀県消防協会会長から秋本敏文日本消防協会会長に、そして次期開催地の大湊一郎青森県消防協会会長へ引き継がれ、大湊会長の挨拶の後、宮西恵美子彦根市消防団班長の閉会宣言により大会は締めくくられました。

情報交流会は、びわ湖大津プリンスホテルへ場所を移し、開場アトラクションの、彦根鳶、オープニング演奏のビワコダルク（大和太鼓）に始まり、秋本日本消防協会会長および三日月滋賀県知事の挨拶の後、記念講演の山中慎介氏、消防応援団の蝶野正洋氏をゲストにお招きし鏡開き、写真撮影等が行われ、参加者による江州音頭が披露され大盛況のうちに締めくくられました。

本年滋賀県は開催地ということもあり、様々な方々にご協力いただき、無事に終える事が出来ました。誠に有難うございました。また、全国各地の方との交流を深められた事を嬉しく思います。次期開催の第25回全国女性消防団員活性化青森大会実行委員会の皆様、どうかよろしく願いたします。



大会会場



記念撮影パネル



会場風景



大津市消防音楽隊 ウェルカムコンサート



大会旗入場



開会宣言 大津市消防団本部分団部長 笈井麻子



菅原泰治消防庁国民保護・審議官



秋本敏文日本消防協会会長



植田和生滋賀大会実行委員会委員長



三日月大造滋賀県知事



越直美大津市長



大会会場内



会場2階PR展示コーナー



活動事例発表 奈良県橿原市消防団



活動事例発表 三重県桑名市消防団



啓発劇発表 大分県佐伯市消防団



啓発劇発表 大阪府高槻市消防団



レイクリード



ゆるキャラステージ



山中慎介記念講演「継続は力なり」



活動事例発表 千葉県浦安市消防団



活動事例発表 岐阜県多治見市消防団